

SKC 創立10周年記念イベント

2024.12.09

海外業務室 三好

SKCは、2013年5月16日に設立し、翌年9月より生産を開始しました。

当初は、生産品目も少なく日勤のみで操業していましたが、現在は平日のハンガー数が160ハンガー(MAX192ハンガー)で2直で生産しています。

丁度生産を始めて10年の節目を迎えたので、日頃日本及びタイでお世話になっている金融機関、会計事務所、薬品メーカー及びSKC初代社長の細川さんを招待してささやかながら記念のイベントを11月20日に行いました。

当日の日程は朝バンコクのホテルに集合し大型バスに乗り込み→昼食→SKC会社概要説明と工場見学→夕食会の流れで行いました。

朝10時にバンコク市内のホテルを出発し、途中タイ料理の昼食(エビさつま揚げ・豚ののど肉炙り焼き・牡蠣オムレツ・イカのパップンカリー・エビ入り焼き飯等)を頂きました。

昼食後、いよいよSKCに到着、外壁を塗り替え大変綺麗になっていました。

会社入り口のエントランスにはテーブルとイスが並べられ準備万端整えて皆さんをお迎え。

タイ人スタッフの意気込みは並々ならぬもので素晴らしい飾り付けでした。

柿原常務による会社説明の後に2班に分かれて工場見学。

皆さん口々に10年経っているとは思えないほど綺麗さが保たれていると、大変好評でした。

見学後の質問で、タイで仕事をする上で苦労されることはとの問い合わせに対し、佐々木マネージャーが仕事をきつかりしてもらうために守るべき5箇条を作りワーカーさんに説明していると回答。

1. 会社のルールを守る。
2. 仕事のルールを守る。
3. 上司の言う事を聞く。
4. 良品を作る。
5. むやみに休まない

この5項目で年末に評価を行いボーナスの査定、昇格(派遣から社員への登用も含む)の判断を行っています。この回答について各来賓の方々は非常に納得されていました。



工場見学の後に記念写真を撮影し、いよいよ夕食パーティー会場に出発。

会場は、バンコク市内チャオプラヤ川沿いのシャングリラホテルのサラティップレストランです。

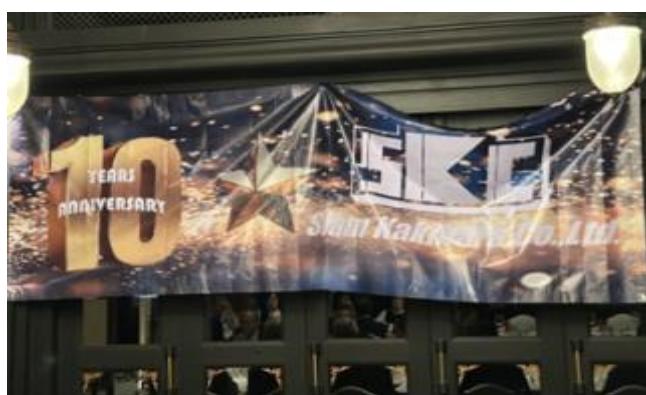
このホテルは、BTS(高架鉄道)サバーンタクシン駅に近く対岸には5年前にオープンした大型商業施設サイアムアイコンが有り、高島屋やトヨタのショールームも入居しています。

水曜日ではありますが、帰宅時間と重なる会場付近は大渋滞(タイあるある)。SKCを15時40分に出て18時30分頃到着(通常だと2時間程度。ちなみに金曜日だともっと渋滞して何時間かかるか！)

各社の方々がこのパーティーで揃い総勢36名の参加者で、柿原社長の挨拶に始まり奥野製薬の新社長の乾杯の音頭で夕食会が始まりました。

食事はタイ料理のコースで日本人の口にも合うように味付けされており、大変美味しく頂きました。

途中にはタイ古式舞踊のショーもあり、皆さん大変有意義な時間を過ごされ最後にSKC水田社長の挨拶があり、この後20周年、30周年とまたこの様な会が催せたらと誓いました。



タイ古式舞踊



2日目はSKC10周年記念ゴルフコンペをバンコクの隣の県、サムットプラカーンにあるThe Vintage Clubで参加者19名で開催しました。

タイのゴルフは日本と違い18ホールを通してプレーし、一人のプレーヤーに専用カート、専属キャディーで、カートごとコース内乗り込むことが出来るスタイルです。

順位の決定は、やはり日本では馴染みのないオネストジョン方式で行い、各プレーヤーの申告打数に隠しホールをパーの打数で実際の打数から加減していくかに申告打数に近いかで争う方法で行い、栄えある優勝者は、広島銀行福山南支店長の中島様でした。

準優勝はアトテックタイの小林様、3位はOBの細川さん、BBは私三好でした。

天候も良く、あまり暑くない丁度ゴルフにはうってつけの気候で皆さんタイのゴルフを満喫されたと思います。

以上で無事10周年記念の行事を終える事が出来ました。



タイの状況について

今タイでは、中国の自動車メーカーが次々と電気自動車の組み立て工場を建てて進出し、低価格で販売して販売台数を伸ばしています。

ただ、日本以上に郊外ではインフラが整っていないのでバンコクの富裕層の購入が一巡すれば売れ行きは落ちるもよう。

また、主要な販売車種である1トンピックアップトラックも金融機関のローン審査の厳格化によりローンが通らず販売台数が落ちています。

新車販売台数は、前年比で26.2%も減っており、タイ工業連盟自動車部会は今年の生産台数の目標を170万台から150万台に引き下げました。

SKCも自動車部品の注文は日本同様落ちていますが、アメリカ向け冷蔵庫の部品を2部品受注しており、これが順調で初めに書いたように平日のハンガー数が160ハンガーとタイで自動車部品のみめっきしている同業者より売上を伸ばしています。

今後も、自動車部品の受注をメインで行っていますが他の業種の部品が有れば意外と売上に貢献するかも知れません。

追記

バンコク及びSKC周辺の観光地

バンコクは、ここ数年でインフラ(特に鉄道網)が急速に整い今まででは自動車もしくは水上バスでしか行けなかった観光地にも鉄道を使って行けるようになりました。

今回は、鉄道を乗り継ぎ王宮近くの寺院ワット・ポーに行ってきました。

対岸には暁の寺院の呼び名で有名なワット・アルンが有り、丁度日没時間前に到着しましたので夕焼けに染まつていくワット・アルンを見ました。

ワットポーは19時30分まで見学が可能でしたのでゆっくりと中を見、有名な涅槃仏から奥に進み本殿の釈迦牟尼仏まで時間を掛けて見学しました。

一回りして外に出ると今度はライトアップされたワット・アルンが目に入って来、その美しさは、感動ものです。

日本からの観光客も多く見られました。

是非訪れてみて下さい。



夕日に染まるワット・アルン



ライトアップされたワット・アルン



ワット・ポー 涅槃仏の顔



涅槃仏の足から撮影



本殿 釈迦牟尼仏

SKC周辺の観光

この町には、古くから水上マーケットが有り春にはマンゴー祭も開かれます。

この地には有名な寺院が二つあり、一つはワット・パクナム・ジョーロー(黄金の寺院)、もう一つはワット・ポー・バンクラー(コウモリ寺院)。

二つのうち今回はワット・パクナム・ジョーローを参拝してきました。

この寺院は、外も中も全てが黄金色で壮観です。

寺院本殿の正面には王の立像が有り、昔ミャンマーが攻めて来た時にこの寺院で待ち受けたとSKCの通訳JAHさんから説明をしてもらいました。

本堂の中ではご本尊の釈迦牟尼仏にお供えをし、本尊の周りを時計回りに3回お経を唱えながら回ると願いが叶うそうです。

細川OBとJAHさんについて3回まわってお坊さんから聖水を掛けて頂きタイ語の教本を貰って本堂を出ました。大変貴重な体験をさせてもらいました。

今回は、このお寺だけでしたが、ワット・ポー・バンクラーは寺院の境内の木にたくさんのコウモリがぶら下がっているそうです。

他にもタイ全土から参拝者が押し寄せる(日本人向けパワースポット巡り旅行に組み込まれている寺院の一つ)ピンクの巨大ガネーシャ像があるパワースポットワット・サマーン・ラッタナーラーム、タイ王室第三級寺院のワットソートーン ウオラウイハーンなどがあります。

機会が有ればバンコクから遠いですが、訪れる価値あります。

